

# 先輩の進路体験談

## 就職

### 「就職活動」

富田 ありさ

東日本旅客鉄道株式会社高崎支社

私がこの会社を志望した理由は、部活動でSLに乗車されたお客様を横川駅でお出迎えるおもてなしに参加させていただいた際に、社員の方々の姿や多くの人やモノを運ぶ上で重要な安全で安定輸送という大きな役割を実現しているJR東日本に魅力を感じ、私もその一員になりたいと強く思ったからです。

試験を受けるにあたり、試験内容は学科試験と適性検査とグループディスカッションと面接だとあらかじめ分かっていたのでそれぞれ時間をかけて対策を行いました。学科試験ではSPIだったので何冊か問題集を買って何回も繰り返して解きました。面接練習では、先輩方の試験の報告書を参考に練習していましたが、毎年同じ質問ではなかったので会社独自の質問や変わった質問など調べてすべて答えられるようにしていました。本番は、練習どおりに落ち着いてできたので良かったです。

私は高校三年間で定期試験と検定取得に力を入れてきました。特に検定取得は多く取得すれば自分の強みにもなるし、履歴書の検定欄にも書けるのでなるべく多くの検定を取得できるように努力しました。

私は就職活動を通して評定平均がとても重要だということを改めて感じました。ですから今のうちに少しでも評定平均を上げて自分の希望する進路先に行けるように頑張ってください。

### 「進路決定」

伊藤 楓

株式会社NTT東日本一関信越

私は進路が決定した今とても大変だったと感じています。しかし、同時に大きな達成感を得ることができました。

私はクラスの中でも進路について多く悩んだ方だと思います。その中で、たくさんの選択肢を考えたので、今の達成感があるのだと思います。正直、進路は早く決まっているほどいいと思います。しかし、迷っていてまだ決まっていなくても全く悪いわけではないのでたくさん迷っていいと思います。たくさん悩んだ分、自分が納得できる道に進めると思います。

私が進路決定に向けて大切にしていたことは、時間を有意義に使うことです。特に三年生になってからはとても忙しくすぐ選択をしなければならなくなります。ですからたくさん考えた方がいいと思います。私もとてもうまく時間を使えたと言われたら、はいとは答えられませんが、意識するだけで有意義な時間を作ることができたのでとても大事だと思います。

高校三年間を過ごしてみて一日一日の積み重ねが大事だということに気づいたと思います。これは進学、就職に共通して言えることです。そしてこれから社会人となる私にも言えることだと思います。いまやるべきことを考え自分が満足できる結果で高校生活を終わられるように一日一日を大切に過ごしてください。

## 「就職活動」

川島 美駆人  
信越化学工業株式会社

私が信越化学を受験した理由は、系列で学んだことを活かせる職業に就きたかったことと、実際に企業見学へ行ってみてとても良い環境で働くことができ、この会社なら働き続けられると思ったからです。

私は信越化学を受けるに当たり、面接でどう自分の長所をアピールできるか考えました。私は休むことなく三年間部活動を続け、部長を務めてきました。そして情報電子系列で学んだことをどのように会社で活かせるかということが伝わるようにしました。

面接練習を始めて、初めの頃は緊張や不安などで自分の言いたいことをうまく話せなかったり、自己PRでアピールしたいところを具体的に伝えられなかったり失敗することが多かったです。しかし、面接練習を重ね、先生方から受けたアドバイスのおかげでしっかりと内容を伝えることができるようになっていきました。そして本番ではあまり緊張することなくリラックスして挑むことができました。

私は早い段階で進路を決めていたので準備に時間をかけることができました。ですからしっかりと準備をすることができ、余裕をもって試験を受けることができました。

三年生になってからは、やるが増えて忙しくなるので、進路に関してはなるべく早めに考え始めた方がいいと思います。自分の希望する進路先へ行けるように頑張ってください。

## 「進路の決め方」

加藤 花音  
公益財団法人群馬慈恵会松井田病院

私は高校二年生の頃から一般企業への就職を考えていました。いつの間にか将来に対するの期待がなくなってしまい、お金を稼ぐために働きに出ればいよいよと考え、仕事の分野をだいたい絞る候補をいくつか出してはいましたが、特別にここにしたいなどというしっかりした意思もないまま三年生になってしまいました。

三年生になると学年全体が進路決定へ向かって動き出し、周りの友達が行きたい企業や意思がしっかりとあり続々と進路決定へ向かっていくのを目の当たりにして毎日焦っていました。私自身も一般企業へ見学へ行ってみましたが、作業内容や職種として自分に合っていないと思ってしまい、夏休み中で進路を決める段階にありながらその企業を降りました。そして担任の先生のサポートや両親の助けもあり、遅くはありましたがもう一度自分の将来を見つめ直してみることにしました。特に私は部活動を高校生活の中で頑張ってきたので、卒業してからも何かに挑戦しせつからまた新しい目標を作ろうと思い自分はどんな人生を送りたいのか、何を大切にしたいのか、自分と向き合ってみました。

そして私が最終的に選んだのは准看護師見習いでした。看護師は中学生の頃夢見ていたものの、無理だろうとあきらめたものでもありました。しかし、これからの私は今の自分のままでいてはならないし、挑戦し続けるために、この道を選びました。命の現場で働くこの仕事をとても尊いものだと思うし、大切にしなければならないことをあの場所でなら大切にできると思ったからです。進路選択はとても大事なものです。たくさん迷って悩めば必ず結果は出ます。悩めば悩むほど固い意志が生まれます。自分を見つめ、たくさん考えてほしいと思います。

## 進学

### 「私の進路」

川崎 宗信  
千葉工業大学

私は千葉工業大学へ進学します。千葉工業大学は千葉県の津田沼と新習志野、そして、東京スカイツリーには展示場のような形でキャンパスを持ち、機械の仕組みなどを学ぶ工学、建築物の設計や材料を考える建築学など主に工業に関係したことを学べる大学です。私は二年生になるときの系列選択で文理教養系列の理系を選びました。系列で学んだことを生かせるように系列と同じ理系の大学に進学しようと考えました。そして、休み期間中に受けた模試の結果から先生から勧められた大学が千葉工業大学でした。初めは一般受験の予定でしたが、指定校推薦に切り替えることを10月という遅い時期に決定しました。

進学しようと思ったときに進学と就職どちらにも学力だけでなく、評定も大事だと考え、授業態度や提出物の提出などを心がけて行ってきました。学力については同じ進学を目指している友達と放課後に1、2時間残って勉強していました。

入試に向けては、試験内容が面接と書類審査だったので面接を担当の先生や校長先生と練習し、面接になれることといろいろな質問に対応できるようにすることを目指して行っていました。実際の試験は新習志野キャンパスで行われ、控え室から私語一つなく、すごい緊張感があってすでに試験が始まっているような感覚でした。面接本番では自分の応答に対してさらに詳しく質問され、たくさん対策していても応答に詰まってしまいました。自分は進学したら大学院に進み、自動車関係のエンジニアになりたいと思っています。

### 「日々の習慣が進路決定とその先に及ぼす影響」

櫻澤 竜  
高崎商科大学

私は高校に入るまでに将来の夢について深く考えたことがありませんでした。そのため1年次に行われる系列選択で選択肢の幅が広げられるように努力しました。様々な系列が選べる状態での系列決定がその先のモチベーションにつながると考えました。そのためには成績はもちろんですが、皆勤を目指すことが必然的に成績を上げる手早い方法だと確信し、それを継続しました。

選択した系列は資格取得に非常に強く、努力がそのまま検定に合格するという形で分かりやすい結果になるのでさらに努力ができる強い精神的支柱になりました。初めは新しい環境に慣れないためにとってもつらいと思います。ですが時間の経過に従って細かった枝が丈夫な幹となるように成長していきました。今日の自分は昨日より強く明日の自分は今日よりきっと強い。そういった心持ちが重要だと考えます。

これはこの文を読んでいるあなたも備えているはずの資質です。たとえ同じ内容でなくとも、部活を頑張っていたり生徒会や委員会などの学校の活動に協力したり家事を手伝っていたり他人に力を貸したりするなど、些細なことがあなた自身を支えています。そして、「継続すること」が何よりも大切です。本人にとってはなんでもないようなことが傍から見ればとてもすごいように見えてしまうことがあります。きっとそれは続けているから起こりえることなのだと、この三年間で実感しました。

とはいえ、始めないことには何も起こりません。何かをするに遅すぎることは滅多にないと思います。今この瞬間に変われば未来が変わります。

二度とない三年間、大事に使ってください。

## 「目標達成のために」

岡田 明美  
育英短期大学

私は高校入学時からの目標だった育英短期大学に入学することが決定しました。この目標を達成するために私はいろいろなことを頑張りました。一つ目は勉強です。私は数学が苦手だったので塾に通って復習をしたり、全教科の大事な場所をルーズリーフにまとめたりしました。そのおかげで、テストではいい点数がとれ、勉強が楽しくなりました。二つ目は部活動です。私は和太鼓部に所属し、副部長を務めていました。地域のイベントや全国規模の大きな太鼓祭に出演したりしました。小さい頃からやっていた和太鼓でたくさんの人たちに出会い、たくさん笑顔や感動、そして悔しさにも出会えました。この和太鼓部での経験は自分を大きく変えてくれて、短大の入試のときにも活かしました。三つ目は実習活動です。この実習活動では子供への関わり方や遊び方、保育士になるために大事なことを学びました。私は小さい頃から保育士になるという目標があります。計10回の実習活動を通して、命の大切さや尊さ、そして将来自分がどんな保育士になりたいかとかを想像することができました。私の今度の目標は、障害のある子どもに対しての保育で社会貢献をすることです。そのために、短大でのゼミ活動や実習活動を頑張りたいと思います。そして自分がなりたい保育士像のために全力で努力していきたいと思います。絶対に努力は裏切りません。みなさんも目標達成のために全力で努力し、楽しい学校生活を送ってください。

## 「将来について」

清水 遥  
東日本デザイン&コンピュータ専門学校

私は高校を卒業したら、就職ではなく進学します。昔から、将来は絵を描く仕事に携わりたいと考えていました。そして高校も美術を専攻できる安総に進学できたので、その先の進路も頑張って美術系の学校へ進もうと決めたからです。進学先は東日本デザイン&コンピュータ専門学校という学校に進学します。学校は県内の学校で、駒形駅から徒歩三分の場所です。とても近いところにあります。高崎駅などにスクールバスも来てくださるので、とても便利だと思いました。

私がこの進路に決定したのは、二年の夏休みあたりです。昔からやりたいことはある程度決まっていたので、進路決定までの時間は余りかからず決められました。この学校に決めた理由はいろいろな学校を調べた結果、学費や学べること、自力で通えるかを考えたら一番自分に合っていると思ったのでこの進路先に決めました。

普段から私が頑張っていることは部活動でした。弓道は武道なので、まず礼儀をしっかり学び先生や先輩などへの挨拶はしっかりとするなど当たり前のことではあるかもしれませんが技術以外にも学ぶことができました。そしてもう一つ頑張ったことは勉強です。私は指定校推薦で書類選考だったので、評定を頑張ってあげました。

私は将来の夢をかなえるために高校受験から頑張って今まで過ごしてきました。やっと夢をかなえる一歩前のところまで来ることができたので、高校で学んだことを生かしさらに発展させ、磨いていけるようにしたいです。

## 「強い意志」

垣田 希  
農林大学校

私は農林大学校農林業ビジネス学科の農と食のビジネスコースに合格しました。

私は幼い頃から農業や食に興味があり、中学のとき農林大学校でそれぞれのコースにより専門的なことが学べ、その中で農と食のビジネスコースでは六次産業化という、生産から加工、販売まで農業を幅広く学べるコースだと聞き、このコースに入りたいと思い高校よりも先に決まってしまいました。

幼い頃から農業と密接に関わってきたということもあり、高校は安中総合学園に入学し食料生産などの生物生産や緑化材料の栽培管理、農業を一から学べる生物資源系列に入りました。高校に入学してから次の目標は見えていたので、高校三年間は大学への推薦をもらえるために系列の授業だけでなく、他の教科や、それぞれの教科で出された提出物は必ずやり、そして学校は休まないことを目標に高校生活を送ってきました。

高校三年生になり、目標としている大学への推薦がもらえたときは本当に嬉しくて、試験当日、ここに行きたいという「強い意志」をもって試験を受け、見事農林大学校農林業ビジネス学科の農と食のビジネスコースに合格しました。合格することができたのは自分一人の努力だけでなく、家族や祖父母からの応援が私にとって一番大きかったです。

目標や夢を持つと、それが原動力となり、その夢に向かって自然と今自分がしなくてはならないことが見えてくると思います。ほんの小さな目標や夢でもいいので、それに向かって目の前にある壁を一つ一つ「強い意志」をもって乗り越えてほしいです。

頑張ってください。応援しています。

## 「受験に向けて」

小室 二葉  
前橋医療福祉専門学校

私は4月から前橋にある前橋医療福祉専門学校の作業療法学科に進学します。前橋医療福祉専門学校は作業療法学科の他に理学療法、介護福祉、医療秘書、言語聴覚士、歯科衛生学科の6学科あります。私が進学を決めたのは、3年の夏で夏休み中に急遽オープンキャンパスに参加しました。

普段の学校生活で心がけたところは自分の学力が一定を保てるようにしました。そのためにも、私はテスト前はワークやプリントの問題をルーズリーフに丸写しをして、そのルーズリーフを使って何度も解いていました。

私は前橋医療福祉専門学校には指定校推薦で受けたので面接だけを試験の日に受けました。2回オープンキャンパスに参加してとても過ごしやすい雰囲気を感じました。そして、その際に面接は「個人面接で行いますが、人数が多い場合は集団面接になります。しかし基本は個人面接です。」と言われていましたが、私は試験当日に「本日は集団面接で行います。」と言われかなり戸惑いました。また、試験前日は系列で長期インターンシップで施設に行っていて面接練習があまりできなかったのも、余計に戸惑ったし、緊張しました。

私は将来介護福祉施設で作業療法士として働きたいと思っています。そのためにも私は絶対に作業療法士の資格を取得したいと思います。介護の実習で学んだことを生かして利用者さんに寄り添える作業療法士になることが私の将来像です。